

大阪府がん登録情報の利用申出概要（令和7年度第2回がん登録等部会）

利用申出

申出 No.	利用申出		申出者	区分	研究課題名	(1)利用目的
	全国 / 地域	匿名化/ 非匿名化				
No.1 (A2025013)	全国	非匿名化	大阪国際がんセンター 宮代 勲	大阪府	がん登録を基盤とするリアルワールドのがん医療への影響調査（予後）	<p>【利用目的】 がん登録を基盤とするリアルワールドのがん医療への影響調査の付随研究として、予後情報を付加することで、大阪府のリアルワールドのがん医療の状況を予後の観点で分析し、がん対策の科学的根拠とする。</p> <p>【必要性】 ・「がん登録を基盤とするリアルワールドのがん医療への影響調査」は、大阪府の新規がん患者の大部分をカバーするがん診療連携拠点病院等の院内がん登録に基づく調査を行い、診断情報データの一種であるDPCの情報を加えることで、大阪府のリアルワールドのがん医療の状況を明らかにする取り組みである。住民ベースの大阪府がん登録も併せて活用することで、さらに詳細な分析が可能となり、科学的根拠に基づく大阪府のがん対策の推進への寄与が期待できる。 ・がん対策の企画又は実施に必要ながんに係る調査研究のため。</p>
No.2 (A2025012)	全国 / 地域	非匿名化	大阪国際がんセンター 宮代 勲	大阪府	がん患者のがん以外の死因に関する研究2	<p>【利用目的】 がん患者のがん以外の死因について、大阪府がん登録資料を用いて検討する。大阪府がん登録罹患情報と人口動態統計死亡票を照合することにより、がん患者のがん以外の死因や死亡場所を同定する。死因構成の年次推移、がん患者集団と一般住民集団とのがん以外の死因の死亡率の比較、がん患者のがん以外の死因に関する診断後経過年数別の死亡率の分析、死因に影響を与える因子の分析、死亡場所に関する年次推移や影響を与える因子についての分析を行う。 本研究は、「がん患者のがん以外の死因に関する研究：NANDE」をもとに新たに研究として開始するものである。</p> <p>【必要性】 ・がん患者の生存率は向上しており、長期にわたり生存する「がんサバイバー」が増加している。また、がん患者集団の高齢化も進んでおり、がん以外の死因で死亡する例が増加していると考えられ、これに伴い、がん治療後の長期的な健康管理や非がん疾患に対する対応が求められている。さらに、がん患者の終末期医療において、どこで最期を迎えるかは、本人および家族にとって重要であり、医療提供体制や社会資源の整備に関連する重要な課題である。全国がん登録で死因が把握できるようになり、NANDE研究は役割を終えたと考えてNANDE研究を終了したのだが、全国がん登録では解決できない課題があること、NANDE研究で扱っていなかった課題、例えば、死亡に至るまでの期間が成人よりもはるかに長い小児がん経験者に着眼した分析、放射線治療法の超長期における晩期障害の分析、自殺に対する長期的影響など、課題が残っていることを再認識した。 ・がん対策の企画又は実施に必要ながんに係る調査研究のため</p>